



の教室・行事予定

日	曜	教室・行事等
1	月	いきいき百歳体操 (10:00~11:30)
3	水	フォークダンス (10:00~12:00)
5	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
6	土	人権啓発指導者育成講座 (13:30~15:30) 詩吟 (19:00~21:00)
8	月	いきいき百歳体操 (10:00~11:30)
9	火	茶道 (13:30~15:30)
11	木	山の日
12	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
13	土	詩吟 (19:00~21:00)
17	水	フォークダンス (10:00~12:00)
19	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
20	土	詩吟 (19:00~21:00)
23	火	茶道 (13:30~15:30)
24	水	健康相談 (13:30~15:30)
26	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
27	土	詩吟 (19:00~21:00)
29	月	いきいき百歳体操 (10:00~11:30)

【開館時間】 9:00 ~ 17:00

【休館日】 土曜日 日曜日

国民の祝日 年末年始 (12/29~1/3)

※ 新型コロナウイルス感染症拡大状況により、予定が変更または中止になる場合があります。

～毎月10日は人権を考える日～
『自分ごととして考える』難しさ
差別問題については、「自分のこととして」考えることが不可欠だと考えます。「他人(ひと)のこと」として考えると、どうしても後回しになったり、そのうち状況が変わるだろうと楽観的な見方をしてしまったりしがちです。
自分がいじめられている事実があるとき、一刻も早くこの状況を改善したい、一秒でもこの状況が続くことは耐えられないと思うでしょう。「ひやかし・からかい」「ネットによる誹謗中傷」「差別」など形は様々です。「いじめ」や「差別」は相手の人権を侵害し、深刻な身体的・精神的苦痛を与えます。
差別の一つに部落差別があります。「太政官布告(身分解放令)が出てから150年経っているのに、未だに差別をする人がいるのはどういうことだ。身分がなくなっているのに、差別する人がいるのは許せない。見えにくい差別の状況をしっかり見抜いて、今すぐ何とかすべきではないか。」
このように「自分ごと」として考えると必死になるのは当然だと思いませんか。いじめや差別をなくす(解決するには、「自分ごと」として考えることが不可欠です。
しかし、この「自分ごと」として考えるためには、自分がいじめられている(差別されている)と想像できなければなりません。自分に起こった小さな出来事から学ぶ姿勢を持たなければなりません。さらに、自分がその状況になったら、どんなことを考えるのだろうか。また、何をしようと思えば描かなければなりません。そして、自分の考えたことを行動に起こさねばなりません。その行動が差別をなくすことにつながると信じています。西条市から差別をなくしていきましょう。

西条市人権教育協議会・西条市人権擁護課

ここ大町会館(隣保館)は、人と出会い、交流、つながる場です。偏見や差別、排除のない多様な生き方やこれからの社会の在り方を語り合う場です。人と人がつながり合う社会に関心がある方、何かを始めたいと思っている方、お気軽にお立ち寄りください。ご心配事、悩み事など各種相談、お申込み・お問い合わせは、**西条市大町会館(☎0897-55-5393)**まで、お気軽にご相談ください。

大町会館 だより8月号

2022年8月 第268号
発行:西条市大町会館
西条市福武甲1644番地1
TEL・FAX 55-5393
Eメール
omachikaikan@saijo-city.jp

『誰のために差別をなくすのか』

～ 第2回人権啓発指導者育成講座 ～

例年よりも随分と早い梅雨明けと連日の猛暑が続いた7月2日(土)、今年度2回目の本館主催「人権啓発指導者育成講座」を開催することができました。講師として、新居浜市人権教育課人権啓発指導員の鴻上 基志さんをお招きしました。会場の大会議室は、予定していました座席が足りなくて追加するほど多くの出席者を得ての熱を帯びた講座となりました。



講座は、演題『誰のために差別をなくすのか』の問い掛けのとおり、鴻上さんが今まで差別と正面から向き合い、自問自答を繰り返しながら生きてこられたありのままの姿を伺うことができました。特に、身近な人の差別及び偏見に、自分の生き方を問いながら、差別の不合理性、凶器性を分かってもらおうと話し合いを繰り返してきたこと、その結果、差別に対する意識と行動が徐々に変容し、そのことからご自身も学び、人生の舵までも切り替えられたことなど、苦しく悩まれた日々のことを熱く語っていただきました。

講座の後半では、過去に起きた新居浜市での結婚差別を題材とした動画資料『遺書が問いかけること』を紹介していただきました。南澤 笑子(えみこ)さんが新居浜の地で、不当な差別によって自ら命を絶ったという決して風化させてはいけない事実と、残された二つの遺書から、今を生きる私たちに笑子さんが伝えようとした「想い」「問いかけ」をどう



感じ、どう行動していくのかなど、部落差別解消をめざす上で必要な多くのことを示唆していただきました。

また、来る8月11日(木)[祝日:山の日 時間:10:00~11:30]には、新居浜市の瀬戸会館にて、南澤 笑子さんの残した二つの遺書を通して学び合う「人権のつどい」が開催されます。講師は、もち

第268回 会館ミニ展示会

『切り絵展』

【日程】 8月1日(月)～10日(水)

【場所】 大町会館 玄関ホール

【提供】 塩崎 剛 さん

ろん鴻上さんです。この会へ、「よろしければご参加」をとお誘いを受けました。

私たちの身近なところにある差別、家族や職場など、全く他人事とするのではなく、自分事かつその当事者の視点で、「誰のために差別をなくすのか」を自らに問い続けていきましょう。そして、「私」も「あなた」も、「家族」も「教え子たち」も、みんなが「幸せ」に暮らせ、素敵な人生が全うできる世の中を創っていきましょう。

ようこそ♪ 大町会館へ

～大町小学校2年生 校区たんけん～

「ようこそ♪ 大町会館へ!!」

何年ぶりでしょうか、こんなにたくさんの小学生キッズが、大町会館を訪問してくれたのは。

先月、6月10日(金)に大町小学校の2年生と担任の先生方、約80名が来館してくださいました。2年生の生活科「大町校区たんけん」として、大町公民館～大町会館へと、それぞれの施設の訪問見学を通して地域から直接学ぶ体験学習を行いました。

「大町会館って、何をするとところですか？」との小学2年生からの質問に、大町会館は、「人権」という言葉をキーワードに、「わたしも、あなたも、みんなが幸せに暮らしていけるために大切なことを学ぶところだよ。」と答えました。初めて訪れた子どもたちがほとんどのようでしたが、何か一つからでも感じ得るものがあればうれしい限りです。

後日、訪問してくれた皆さんから、お礼のメッセージカードが届きました。心温まるメッセージがあふれていました。こちらこそ、「ありがとうございました😊」



健康を続けるための生活術

～会館地域交流事業 第1回健康教室～

7月4日(月)、今年度第1回「健康教室」を開催しました。済生会西条病院健診センターから保健師の秋元 友絵先生を講師にお迎えして、『健康を続けるための生活術』というテーマのもと、講話の中に簡易な体操も交えながらの健康教室でした。

皆さんは、「フレイル」という言葉をご存じでしょうか？ あまり聞き馴染みのない言葉かもしれませんが…。「フレイルとは…? ⇒加齢に伴い、心や体の働きや社会的な繋がりが弱くなることで起こる健康障害による「健康」と「要介護」の中間段階のこと」です。

フレイルは、早めに気づいて生活習慣を見直せば健康な状態に戻ることができます。フレイルの状態の高齢者の割合は、地域で生活を営む高齢者の約10%(10人に1人)で、男性<女性(男性よりも女性に多い傾向がある)そうです。フレイルのサインを見逃さずに、日常生活で心身の機能を改善しませんか。フレイル予防の5つのポイントをご紹介します。

- ① 適度な運動をして必要な筋力をつけましょう。
- ② 食事は抜かずに、たんぱく質の摂取を心がけましょう。
- ③ 日頃からよく噛んで食べ、噛む力を養いましょう。
- ④ 規則正しい生活を送りましょう。
- ⑤ 人との交流や繋がり、助け合いが大切です。

特に大切なポイントは、⑤です。人や社会との繋がりは、健康を支えてくれます。近年の研究で、運動習慣より人との繋がりの有無の方が、フレイルの発症に深くかかわることがわかってきています。『ちょい寄り習慣』⇒「ちょっと行ってみよう、ちょっとそこまで」で心身を活性化させて、健康寿命を延ばしましょう。

これからの時期、熱中症並びにコロナ感染症の予防対策を心がけ、くれぐれもご自愛ください。



第3回 人権啓発指導者育成講座のご案内

令和4年度 第3回講座を下記のとおり実施します。

《日 時》 8月6日(土) 13:30～15:30

《場 所》 大町会館 2階大会議室

《講 師》 白石 小夜 さん イマココ子育て支援

《演 題》 『子どもたちは地域で育む』

※受講ご希望の方は、大町会館(☎55-5393)までお申込みください。